

## 天体観測ドーム 今月のOPEN日

# 9/

2日(土)・3日(日)・9日(土)・10日(日)・16日(土)  
17日(日)・18日(月)・23日(土)・24日(日)・30日(土)  
日没から午後9時30分まで(晴天時のみ)

# 星空通信

## 2023年9月号

- 3日 金星が留
- 5日 木星が留
- 6日 水星が内合
- 7日 下弦
- 15日 新月/水星が留
- 19日 海王星が衝/金星が最大光度
- 21日 アントレス食
- 22日 水星が西方最大離角
- 23日 秋分の日/上弦
- 29日 満月

### ☆用語解説☆

衝しょう…外惑星が太陽とちょうど反対側に来る瞬間

留りゅう…惑星が順行⇔逆行へ変わる時、一時停止して見えること

内合ないごう…地球-内惑星-太陽と並んだ時

西方最大離角せいほうさいだいいりかく…地球から見た天球上で、太陽の西側に最も離れる瞬間

### 今月の惑星情報

#### 水星

月初は日の入り後の西の低空に位置、22日には西方最大離角となる。9/20~26までの明るさは0等~-0.7等。

#### 金星

日の出前の東の低空に見え 19日に最大光度となる。明るさは月初には-4.6等 19日の最大光度には-4.8等に達し、月末には-4.7等となる。

#### 火星

おとめ座を東に移動。見かけの位置が太陽に近く、観察は難しい。

#### 木星

月初はおうし座を東に移動。5日に留、以後は西向きの動きに転じます。留の頃には、星空の中での木星の動きが止まったように見えます。

#### 土星

みずがめ座を西に移動。宵の南東の空に見え、明るさは0.5等~-0.6等。

## おとめ座

その昔、農業の女神デメテルに、ペルセポネという美しい娘がいた。ある日、ペルセポネが花摘みをしていると突然、土の中から冥神ハデスが現れて、ペルセポネを死者の国へ連れ去った。母デメテルは娘が居なくなったことを悲しみ、洞窟にこもってしまった。農業の女神デメテルが姿を隠してしまうと世界に冬がやってきた。作物が育たず困っている地上の人々を見かねた大神ゼウスは、ペルセポネを母の元へ戻すよう命じた。ハデスはペルセポネを返したが、ペルセポネは冥界の食べ物を食べてしまっていたため、一年のうち三か月は死者の国で暮らさなければならなくなった。その後、母と娘と一緒に暮らしている九か月が春、夏、秋になり、娘が死者の国で過ごす三か月は冬となった、これが四季の始まりだと伝わっている。